

インドネシア国バリ州タバナン県における小水力発電技術協力事業

事業 分類	姉妹 都市	教育	文化	スポーツ	保健・福祉・医療	経済
		行政	ホストタウン	外国人技能実習	オンライン	その他
自治体	日本：富山県 富山市			海外：インドネシア共和国 バリ州タバナン県 国立ウダヤナ大学		

【事例紹介】

交流の概要

富山市と同様に稲作が盛んなバリ州タバナン県からの協力依頼を受け、電力不足や農業衰退などの課題を解決するため、2014年3月にタバナン県と協力協定を締結しました。2017年には、JICA（国際協力機構）の支援も受けながら、世界遺産であるタバナン県ジャティルウィ村の棚田群の用水路に4基の小水力発電システムを設置し、発電した電力を200本の街灯などに使用しています。

また、タバナン県のプロジェクトを普及・展開するため、2017年には、バリ州と国立ウダヤナ大学と協力協定を締結し、2019年4月には、同大学の卒業生を富山市内の企業が正規社員として雇用するなど、波及効果も生まれています。

※詳しくはこちら⇒

<https://www.city.toyama.toyama.jp/kankyobu/kankyoseisakuka/ondankataisakukikaku/kokusairenkei.html>



水車の設置を喜ぶ現地住人



国立ウダヤナ大学卒業生を富山市内企業が雇用

今後の展望・課題

包蔵水力全国2位（富山県）という地域特性と民間企業の優れた小水力発電等に関する技術を活かし、再生可能エネルギーの普及・展開を図り、脱炭素社会（温室効果ガスの排出量を実質“ゼロ”とする社会）の実現を目指しています。

優れた特色

富山市は、日本政府から「SDGs 未来都市」に選定されています。誰一人取り残さない社会の実現に向けて、海外の都市や地域と環境分野における協力関係の構築を進めています。

また、国際連携事業の取組みは、SDGs の目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与するものであり、その他の目標と合わせて、その達成に向けて推進しています。

事業実施にあたり活用した補助金等

独立行政法人国際協力機構(JICA) 中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～

(作成年月：2021年3月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。